

北丹沢方面の自然公園情報

日付：令和3年5月25日（火）

コース：平丸—丹沢主脈平丸分岐—焼山

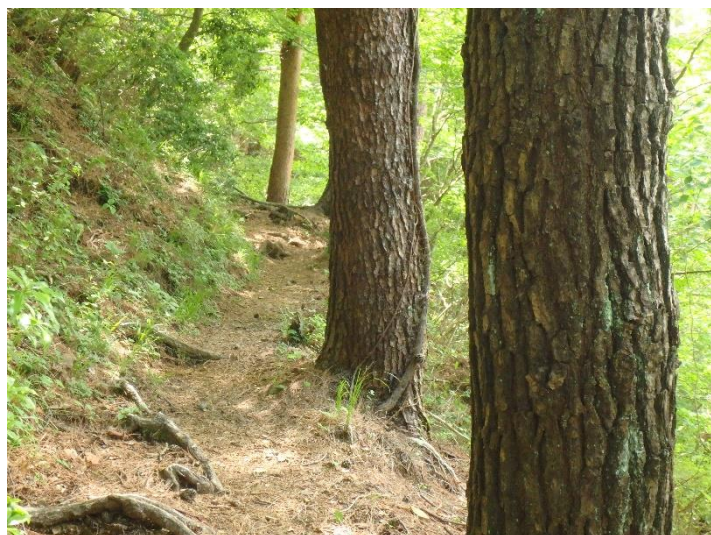
天気：晴れ

温度：20℃（12時頃、丹沢主脈稜線上にて）

外出が難しい方も多い社会状況ですが、パークレンジャーの活動情報を見てお楽しみください。

<自然情報>

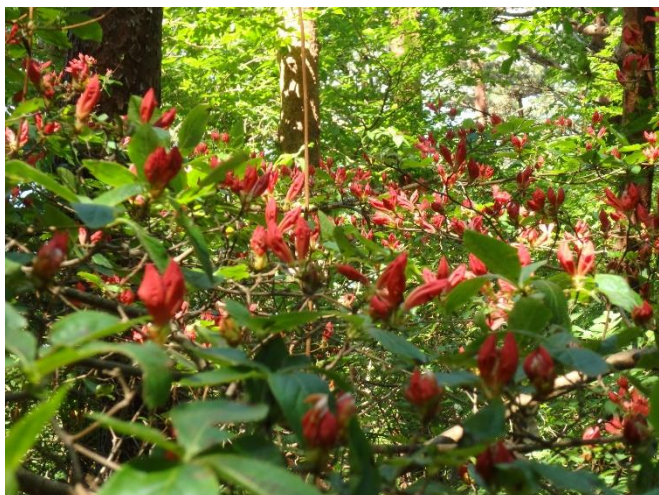
●登り始めは人工林の中を進みますが、後半になるとアカマツが目立ち始めます。この辺りに来るとハルゼミの鳴き声が賑やかでした。ハルゼミは名前のおり春ごろにみられるセミで、アカマツなどの松林周辺にしか生息しないそうです。



●丹沢主脈の稜線が近づいて来るとの林内はカラマツ林に変わってきます。ちょうど新緑を迎えていて、とても色鮮やかな緑です。



●標高約 750 メートル以下ではヤマツツジは僅かに花が残っている程度でした。それ以上では見ごろの株が所々で見られました。まだつぼみでしたが花付きの良い株もありました。



●樹皮が大きく剥がれていました。クマ剥ぎのようです。クマ剥ぎとはツキノワグマによる樹皮剥ぎのことです。縄張り宣言の他、食べるため、匂いを好むためなど、理由にはいろいろな説があり、はっきりとは解っていないようです。樹皮剥ぎが樹幹の全周にわたると枯れる原因にもなります。



<登山道情報>

●登山口から約 400 メートルの区間は雨水の影響で登山道が大きくえぐれ歩き難く、解りづらくもなっています。初心者の方は避けたほうが良いでしょう。



●ヤマビルの吸血行動が活発になる時期になってきました。登山口からしばらくの間は、落ととしてもすぐに靴に付いてくる状態でした。予防としては虫よけスプレーや濃度 20 パーセントの食塩水を足回りに塗布すると効果があります。消毒用のアルコールもかけると駆除できます。ズボンの裾を靴下の中に入れるのも予防になります。



<見どころなど>

●焼山まで稜線は、アップダウンも少ない新緑が気持ちの良い尾根歩きです。荒れていた登山道の一部も昨年度の工事で改善されました。

